本田稔　　INDEX

（平和を願って）
民意の多数派は私たちです　（2015. 6）
幻に終わった「天橋立」爆破計画　（2017. 12）
「宝の島」馬毛島に米軍基地を作らせない！（2020. 5）
（読んだ見た聞いた）
韓国現代事情あれこれ～「韓国植民地歴史博物館を見学して～　（2019. 11）
（エッセイさまざま）
熊本地震被災地への訪問記　（2016. 8）
知っとう？中村 Dr出演のラジオ番組を　（2018. 12）
中学校教科書展示を閲覧して　（2019. 8）
コロナ禍の早急な収束を願う　（2021. 1）
（会のあゆみ）
カフェド憲法 6 月例会の報告　（2017. 7）

（平和を願って）

## 民意の多数派は私たちです（2015. 6）

竹の台　　本田　稔

安倍内閣は5月14日、日本を海外で戦争する国に変えていこうとする安全保障法案（＝戦争法案）を閣議決定し、15日今国会に上程しました。この法案は、既存の海外派兵法案と有事法制の計10本をまとめて改定する「平和安全法制整備法」と、自衛隊をいつでもどこでも他国軍の戦闘支援に派兵する「国際平和支援法」（派兵恒久法）の2本で構成されており、安倍内閣は今国会を大幅に延長して8月中に成立させようと狙っています。

法案に「平和」と言う呼称をつけて国民を目くらましにして、国会での十分な審議もせずに強行採決しようとしている意図は見え見えです。民意を無視して国会審議を軽視する安倍首相の強引な政治手法は、昨年末の衆議院選挙で自民・公明の与党で得た3分の2以上の国会での多数議席を梃子に行われているものです。しかし、年末の衆議院選挙での結果は、決して自民党に国民の多数が賛意を与えたものでないことを、私たちは認識しておかねばなりません。即ち、自民党は291議席

を獲得しましたが、このうち小選挙区で223議席を得ており、小選挙区定数295議席の勝率が75.6%でした。1票の格差が違憲又は違憲状態の小選挙区での圧勝なのです。1票の格差が殆どない比例区での当選は68議席だけです。比例区での自民党の得票率は33.1%であり、また投票率が戦後最低を記録した(52%)ことから、有権者比でみた絶対得票率でみると比例区で17%、小選挙区で24.5%であり、民意を反映できない選挙制度によって多数議席を獲得できた結果だったのです。

この「虚構の多数」でもって明文改憲ではなく憲法解釈でもって「壊憲」をして、日本を戦争できる国に持っていこうとしているのが、安倍内閣の嘘で言い繕うペテン師的政治手法です。最近行われた世論調査では、安保法案に反対が53%、賛成が34%(毎日新聞5月23、24日実施)、日経とテレビ東京の調査(22日～24日)では、安保法案の今国会での成立に反対が55%、賛成が25%と、少なくとも今国会での不十分な審議での安保法案成立には反対の民意が示されています。民意は法案反対が多数派です。私たち国民は安保法案の本質を急いで学習をして、市民の皆さんに安保法案の危険性を幅広く知らせていかねばなりません。70年間保持してきた平和主義を守り、真の国民主権を取り戻すためにともに頑張りましょう。

## 幻に終わった「天橋立」爆破計画 (2017.12)

竹の台　　本田　稔

日本三景の一つ、天橋立が戦前政府の兵器生産増強のため、爆破計画があったことを皆さんご存知ですか。私もつい最近、経済学者の林直道先生からお聞きして、初めて知りました。天橋立は、宮津湾と内海の阿蘇海を南北に隔て、全長3.6kmに及ぶ湾口砂州です。自然が長い年月をかけて形成した造形物です。百人一首にも「大江山いく野の道の遠ければまだふみもみず天橋立」と詠われた昔からの景勝地です。

兵器生産の重要な原料であるニッケル鉱石を、大江山にある精錬所から速やかに湾外へ運びだすためには、天橋立の南端にある浅瀬の狭い切戸を通れば大型船が通過できない。そこで、天橋立の中央部200メートルほどを爆破して、大型貨物船が運航できるようにして兵器生産を増強する計画が、1937年4月、商工大臣より地元町村長に示され協力するよう要請がなされました。この時、宮津町長だった三井(みい)長右衛門が伝家の脇差を大臣の面前にある机に突き刺して、命を

懸けて反対された。「戦争はいずれ終わるが、天橋立が爆破されたら、二度と元通りに戻らない」と談判したそうです。大臣も三井氏の気迫に押されて、爆破計画を撤回したという。

この話を聞きつけた林先生は、1990 年、88 歳の三井町長未亡人を訪ねられ、夫人から反対談判されて以後の三井氏の様子を聞かれたそうだ。夫人によると爆破計画を取りやめさせた当初は、町民の称賛の声に包まれたが、政府が仕返しに財政支援をドンドン打ち切るようになると、町会議員の中から町長を批判する反対派が増え、町長個人の商売もうまくいかず、不遇のうちに亡くなったそうです。しかし戦後、蜷川虎三京都府知事から感謝状が贈られ評価されたので、満足してあの世に行ったと思うと夫人が語られたそうです。

そして、三井町長は早稲田大学の学生だった若い頃、自由民権運動の熱心な活動家だったことを夫人から教えられた林先生は、「三井町長は、自由民権運動の活動家として、社会的使命感に基づいて、暴虐な軍国主義と闘い、勝利されたのだ。それゆえこの事件の顛末を書いたり話したりして、できるだけ多くの人に三井町長の使命感を理解してもらおう」と決意をされそうです。私も命を懸けた人がおられたおかげで、天橋立の素晴らしい景観を見ることが出来るのだと思います。私も林先生と同じ思いを皆さんに伝えたくて、この文章をしたためました。

## 「宝の島」馬毛島に米軍訓練地を作らせない！（2020. 5）

本田　稔　　（竹の台）

コロナ騒動渦中の 3 月下旬、ツアーで種子島を訪問してきました。目的は種子島にある馬毛島（まげしま）の実情を知るためでした。

防衛省は種子島の西方 12 キロにある馬毛島（面積 8.2?）に米軍の空母艦載機離着陸訓練（FCLP）施設を内密に建設しようとしています。 FCLP とは艦載機が陸上滑走路を甲板に見立てて、離着陸（タッチ・アンド・ゴー）を繰り返す訓練です。夜間も訓練するので施設付近の住民の騒音被害は深刻です。馬毛島は現在無人島ですが、1980 年まで人が住んでいて付近は良漁場（特にトビウオ漁）だったところです。

防衛省が昨年 11 月に地権者「タストン・エアーポート社」から 160 億円の国費を使って馬毛島の土地を評価額の約3倍超の価格で購入しました。防衛省側の表向きの説明では、自衛隊馬毛島基地として使用して、年間20日程度米軍の FCLP を実施するだけだと説明していますが、その保証は全くありません。米軍の空母艦載機部隊は、厚木基地から岩国基地へ 18 年 3 月に移転しました。これまで FCLP を行っていたのは硫黄島ですが、岩国基地から 1400km も遠方にあり、防衛

省は「パイロットの安全性向上」を理由に馬毛島への移転を進めています。岩国基地と馬毛島は400km しか離れておらず、訓練がしやすくなります。

馬毛島 FCLP 問題が、今年 2 月共産党田村貴昭議員の追及で「全国区」の問題になってきました。田村議員は馬毛島の買収費用が 19 年度の辺野古新基地建設事業費から支出されたことを明らかにしました。さらに馬毛島の買収前に設計と各種調査を 18 年度の辺野古事業費から 34 億円強の予算を流用して実施していたことも明らかにしました。地元の住民も田村質問でこうした事実を初めて知って、驚きと怒りの声を上げていました。西之表市議会も今年 2 月移転前提の島の売買に反対する意見書を採択しました。反対住民の動きも活発になってきています。反対する住民たちは昨年 11 月に保守を含めた広い共同で、馬毛島の FCLP 反対運動組織を立ち上げ、訪問や署名集めの活動を懸命に推進されています。

自然豊かな島、農魚業や畜産の盛んな島。島南端には種子島宇宙センターがあり観光のメッカとなっています。すぐ近くには世界自然遺産の屋久島もあり、今回の米軍 FCLP で観光産業が壊滅的な打撃を受けてしまうとお聞きしました。

今日本政府に求められるのは、暮らしと環境を破壊する FCLP 計画をストップし、新型コロナウイルスの感染から国民の命を守ることだと思います。

（読んだ見た聞いた）

韓国現代事情あれこれ
～「韓国植民地歴史博物館」を見学して～（2019. 11）

竹の台　本田　稔

日韓関係が険悪化している渦中、9 月初めにツアーで韓国に行き、ソウル市内に 1 年前に設立された「韓国植民地歴史博物館」を見学してきました。この施設は昨年 8 月 29 日に開館しました。8月 29 日は、1910 年日本が韓国併合条約を公布した日です。

2016 年多くの韓国市民による「キャンドル革命」で朴槿恵政権が打倒され文在寅政権が誕生しました。韓国における民主化を求める動きには目を見張るものがあり、この施設も韓国の民主化の大きな流れから市民活動家の運動で設立されたそうです。パンフレットではこの施設の位置付けが、「日本帝国主義による侵奪の歴史と、それに加担した親日派の行為、輝かしい抗日闘争の歴史を記録し、展示する韓国初の日帝強占期（植民地）専門歴史博物館です」と書かれています。

展示ゾーンは 4 つに分かれており、①日帝はなぜ朝鮮を侵略したのか　②日帝の侵略戦争朝鮮人に何が起こったか　③同じ時代、違う人生―親日と抗日　④過去を乗り越える力　いま、

私たちは何をするべきか　という構成で展示がなされています。特に私が注目をしたのが第３ゾーンの展示です。1919 年の「3. 1独立運動」の起草宣言を書き上げた人物が、日帝の弾圧と懐柔で日本の協力者となって、植民地支配に加担していった事実があります。韓国でも自国民を裏切り日本の植民地支配に協力した運動家や学者・知識人の変節・転向が戦後大きな問題になってきました。

この会館を運営する NGO「民族問題研究所」は親日派の動向を丹念に資料としてまとめ、歴史修正主義と闘い、自国の歴史の負の部分も照射しながら展示物の充実に心がけていっているそうです。

会館の運営を担当されている金英丸（キム・ヨンファン）さんのお話を聞きました。日本の情報にも詳しく日本語も堪能な方で、「丸山穂高議員が、竹島を取り返すのは戦争しかないと発言した」という最新のニュースまでご存知でした。そして、金さんは、「韓国の市民は安倍政権の政策に反対しているのであって、日本の国民の皆さんと友好関係をより深めたいと考えています。日本と韓国の市民は『安倍政治 NO!』で完全に一致して闘っていけるのです」、と述べられました。一部の日本人が考えているように「韓国は怖い国」でも何でもない、フレンドリーな隣国です。

（エッセイさまざま）

熊本地震被災地への訪問記（2016. 8）

本田　稔　　（竹の台）

かつて 6 年間住んだことがある熊本が、4 月 14 日（前震）と 16 日（本震）に震度7、M7.3 と言う、阪神淡路大震災と同じ規模の地震に見舞われたことに、大変ショックを受けました。熊本に住む友人・知人にはすぐに連絡を取り、無事が確認できたのですが、住まいの状況や街の様子が大変気になっていました。余震が頻繁に続き、なかなか収束しない今回の熊本地震の特徴を考慮して、3 カ月が経過した 7 月 20～22 日にかけて熊本を訪ねてきました。

まず向かった先が、今回の地震で 20 人の死者が出て、家屋も半数ほどが倒壊し一番被害が大きかった益城町の町役場でした。仮設の庁舎で業務を行っておられる「益城町災害対策本部」に 9 条の会で集めた義援金を届けてきました。役場ではまだ水道が復旧しておらず、トイレは屋外にある仮設トイレを利用しています。役場の周辺の家屋は倒壊したままの状態で放置されて、仮設住宅の建設が急ピッチで進められていました。

熊本市内の人々の様子はだいぶ落ち着きを取り戻していましたが、私が宿泊したホテルは入口の復旧工事が進められているところで、最上階にある大浴場は使用不可でした。

熊本観光の目玉の熊本城は、天守閣や櫓の瓦が落ち、石垣や石塀が大きく崩れており、城内は立ち入り禁止になっていました。また、水前寺公園にも立ち寄りましたが、地震直後池の水がなくなり枯山水の公園になっていましたが、私が訪問した時は水も溜まり、きれいな廻遊式庭園に復旧していました。只、出水神社の門前にあった石の鳥居は、本震の時に倒壊してしまい、まだ再建されていませんでした。

熊本地方は、台風がよく襲来するので重い瓦屋根の家が多かったのですが、今回の地震はそうした家を倒壊させました。熊本地震の被災者の住宅再建・生活復興の公的支援の拡充が強く求められます。1 日も早い復興を願いつつ、熊本の地を後にしました。

（写真説明）　　1. 熊本城稲荷神社　　2. 熊本城

## 知っとう？　中村 Dr 出演のラジオ番組を （2018. 12）

竹の台　　本田　稔

来年 3 月に、西神 NT9 条の会創立 12 周年の記念の集いを開きます。これまでの記念集会には、東京など遠方にお住いの方を講師にお招きして、その時々の情勢の「旬」なお話をしていただいていました。しかし、来年の講演は、私たちの地元・西神地区で循環器内科医院を開業されておられる中村宏臣先生にお願いしました。地元に根差した平和運動を目指しているわが 9 条の会が、来年の集いに地元の方を講師にお招きできることは、画期的なことだと思います。

そこで、事前に皆さんに中村先生の事をもっと知ってもらえる情報源があります。それは、中村先生がパーソナリティとして出演されているラジオ番組です。その番組は、今年 7 月から始まり、毎週日曜日 pm7:15～7:30、ラジオ関西の「ドクター中村と聴く心と体と音楽と」という番組です。中村先生は歌がたいそうお好きで、大学進学の時流行していた、内山田洋とクールファイブが歌っていた「そして神戸」に惹かれて神戸大学医学部を受験された由。そして、毎年なでしこホールでリサイタルを開かれるほど、歌が大変お上手です。たった 15 分間（CM を除けば 10 分位）の番組ですが、体の悩みや人生の送り方、音楽の話題など視聴者に安らぎを与えてくれる番組だと思います。

最近の番組では（11 月 25 日放送）では、めまいの症状が取り上げられました。人間が海から陸上に出て 2 足歩行を始めるようになったから、頭に血液が回りにくくなった宿命の症状だと指摘されていました。こうした身近な体の不調や病気に対するアドバイスがあるのが、この番組の魅力の一つだと思います。そして、最後にご自身で小椋佳のヒット曲「めまい」を歌われて、番組が終わりました。皆さんも、お時間があればこの番組を視聴されては如何でしょうか。

私たちの身近なところで活躍をされておられる方は、西神地区には沢山おられると思います。地域で地道に活動を続けているわが 9 条の会も、そうした多くの有為な方々と連携を深めていけることを、願う次第です。

## 中学校教科書展示を閲覧して （2019. 8）

竹の台　　本田　稔

7 月初めに西図書館へ行き、神戸市立中学校で現在使用されている「歴史」教科書（東京書籍版）が展示されていたので、閲覧しました。尚、今年度は小学校の教科書が採択対象で、参考として中学校の教科書も展示されていました。問題意識をもって教科書を点検してみると、安倍政権が歴史教科書の記述に神経を巡らせており、政府見解と相違する記述は許さないとの強い意志を読み取ることが出来ました。

私が気づいた 2 か所の記述について問題点を述べます。一つ目は領土問題のところです。北方領土の記述は、国後、択捉、歯舞、色丹の 4 島が日本の領土であり、ロシアとの交渉においては 4 島返還を主張しているところです（但し最近の日ロ交渉では安倍政権は歯舞・色丹の 2 島先行返還論になってきていますが）。

教科書ではこの領土問題を 1854 年日露和親条約で、択捉島以南を日本領とし、得撫（ウルップ）島以北をロシア領に確定したことを、その歴史的根拠としています。しかし以下の記述が意識的に省略されています。1875 年に樺太・千島交換条約によって、千島列島は外交交渉により日本領土となりました。ところが 1945 年 2 月に行われたヤルタ会談でソ連の対日参戦の条件として秘密裏に千島のソ連への帰属を米英が約束しました。そして、1952 年サンフランシスコ講和条約を締結した時に、日本が千島列島を放棄する条項が挿入されました。戦後処理の大原則として「領土不拡大」が確認されていたのですから、千島列島がソ連領に編入されたことは国際法上許されるものではありません。

日本政府はソ連⇒ロシアと領土交渉をする際、国後・択捉は千島列島に含まれず（本当は南千島列島）、歯舞・色丹同様北海道の属地であると主張しています。違法に領土占有をしているロシアとの交渉に際して、そもそも論の議論を避けていては交渉は進展しません。サ条約の千島放棄が国際法違反であるとの認識を示し、国際世論に訴えるのが本当の領土交渉の道筋でありますが、そのことに教科書は一切触れていません。

もう一つ気づいたのは 2011 年 3 月に発生した東日本大震災による東電福島原発事故についての記述がないことです。これは原発を主要なベース電源として位置付け、原発再稼働、原発輸出を推進している安倍政権の意向を忖度して、原発の危険性に触れたくないからでしょう。持続可能な社会を目指す上において、原発の「異質」な危険性を示し、太陽光や風力などの自然エネルギーの活用・普及を子供たちに教え考えていってもらう教科書にはなっていません。　安倍政権発足後歴史修正主義の動きが強まり、社会科や道徳教科書への政治の干渉が強まっている今、未来を担う子供たちに本当のことを教えない教科書の監視が極めて重要だと思いました。子供たちに本当のことを教えない教科書の監視が極めて重要だと思いました。

## コロナ禍の早急な収束を願う （2021. 1）

竹の台　　本田　稔

昨年暮れに、例年光の祭典「神戸ルミナリエ」が開催されているメイン会場を夫婦で訪れました。阪神大震災の犠牲者の鎮魂と神戸の復興を願って、1995 年 12 月から始まった「神戸ルミナリエ」の“光の回廊”は昨年暮れにはそこにはなく、光の聖堂「カッサアルモニカ」が展示されただけの寂しい光景でした（表紙写真）。コロナ感染予防のために例年の行事は中止されていました。

思い起こせば 1995 年 1 月 17 日に発生した阪神大地震は、当時宝塚市に住んでいた私たち一家にも襲いかかりました。本棚や食器類の破損はありましたが、幸い家族全員怪我もせず無事でした。ただ 2 階の和室で小学校 1 年生の次女と共に妻と 3 人で就寝していたのですが、地震の大きな揺れで娘の寝ている布団の前にあった前面ガラス張りの本棚が、けたたましい音を立てて娘の寝ている所に倒れてきた時は、“あー!娘の身が危ない”と一瞬恐怖感にとらわれました。しかし、その日は明け方近くに冷え込んできたので、娘は横に寝ていた妻の布団に潜り込んでいて、難を逃れることが出来ました。私たちの家族にとっては、あの震災で亡くなられたり負傷されたりした人達の事は、決して他人事とは思えないと考えて、26 年間過ごしてきました。

“災害は忘れた頃にやってくる”と言われてきましたが、近年では毎年のように地震、台風、水害など大災害が襲ってきています。また、昨年 1 月から世界中の人々が苦しめられている新型コロナウイルス感染症の大流行も人類にとっての大きな災害です。人間の生産経済活動が自然環境を壊していっているのが最大の要因と言われています。

医療従事者の医療逼迫の訴え、商売廃業の店主や解雇された人たちの明日食べる物がないという困苦は深刻で、これ以上放置することは許されません

今こそ政治の出番です。政府や自治体が国民・市民に寄り添って、現下の苦難軽減を図ることに全力を尽くすべき時です。政治の役割が大きいこと、政治に関心を持つことの重要性を国民も気づき始めています。国の大きな財政出動でコロナ対策を迅速に行い、一刻も早くコロナ禍を収束させて、人々に笑顔が戻ってくることを願わずにはいられません。

（会のあゆみ）

カフェド憲法6月例会の報告（2017. 7）

6月17日午後2時から区民センター会議室で開催され、参加者が25名と予想を上回り、当初用意した資料が足りなくて慌てて増刷をしました。

講師は、「明日の自由を守る若手弁護士の会・兵庫」所属の吉谷　健一弁護士で、「憲法をめぐる諸問題の情勢」について、講演をしていただきました。

憲法とはそもそも公権力を拘束するルールであり、国民の基本的人権を守るためにこそ定められているのである。ところが、2012年に発表された「自民党改憲草案」においては、国民の人権保障がないがしろにされ、権力者を縛る憲法から、国民が従う義務が掲げられた憲法であり、憲法の

基本精神を否定した内容の改憲草案である、と指摘され、以下改憲草案の問題点とその狙いについて解説されました。

（自民党改憲草案の問題点）

① 憲法9条の改正―1項は残し、2 項の戦力不保持や交戦権放棄は削除。そして、新たに国防軍、軍事裁判所の 設置を明記

② 国民の国旗国歌尊重義務の新設→教職員への圧力強化

③ 憲法13条で「個人」ではなく、「人」として尊重されると変更→個性は国家にとっては邪魔であるという考え

④ 家族の相互扶助義務の新設（24 条）→家庭のことは家庭において自己責任、福祉政策には消極的

⑤ 緊急事態条項の新設→憲法の大原則である三権分立と人権保障を制限する劇薬

⑥ 97条（基本的人権の尊重）の削除→立憲主義の無視であり、一番危険な部分

⑦ 国民の憲法尊重義務の新設

では、私たち国民が今後どうしていくべきかと問題を提起され、安倍政権が「自衛隊の合憲性」という側面から野党の分断を狙い、9条に自衛隊を明記するという「加憲」で国民の理解を獲得して、9条改憲を狙っていると指摘されました。国民の側においては、改正の意図を見破る論理的思考を身に着け、分かりやすく意見を発信していく工夫をしていかねばならない、と述べられて講演を終えられた。

休憩の後参加された方から感想や意見を交流しあいました。今回の例会には、半年前に東京から神戸に転居してきて、ホームページを検索して参加されご夫婦、区民センターにおいてあるチラシを見て参加された方、会議室前に掲げられていたポスターを見て参加した青年など、初めて参加された方が多かったです。そして2名の会員が増えました。ホームページの更新やチラシ置きなど地道な取り組みを重ねることが大事だということを、改めて認識した次第です。

（竹の台 本田 稔）